

花づくりとともに歩んだ20年

「花の成長を見るのが楽しい」「その笑顔で話す戸田さんが花づくりに惹かれたのは、平成8年に町内会の園芸部長として花壇整備を行うことになり、他のまちに視察に行ったことがきっかけでした。当時、花の知識はほとんどなかったと言います。

「種から育てた本格的な花文字の花壇を見て、自分でもやってみたいと刺激を受けました」。

以来、生育過程での温度調整などが難しく、手間と時間の掛かる花づくりを自宅で始めました。

「電気毛布などを使って温度を一定に保ちながら、種を発芽させようと取り組みました。初めはうまくいかず、試行錯誤の繰り返しでしたが、2・3年経つと、少しずつ良い花が作れるようになっていきました。それからは、土や花



▲地域の方とともにやっているJR幌別駅西口前の花壇整備(上)と講習会(下)の様子

花壇づくりまで手掛けるようになり、気付けば20年間、花をつくり続けていましたね」と笑顔で語る戸田さんの言葉には、さまざまな方への感謝の思いがありました。

「花づくりを始めたころから今まで、協力してくれる仲間や家内には本当に感謝しています。多くの方の協力があって、今もこうして花づくりを続けていられます」。

地域の皆さんに花を楽しんでほしい

今では、『持っている知識を自分だけのものにしておくのはもったいない』との思いから、地域の方に花づくりのアドバイスや講習会を行っているほか、自身が所属する町内会にとどまらず、幌別東小学校への花の提供やJR幌別駅西口前、桜坂駐車公園の花壇整備など、さまざまな地域での花づくりに携わっています。

「花を見た人が笑顔になつてくれることがうれしく、その笑顔が刺激となって、これからも一生懸命頑張ろうと思えます。ことしも皆さんに喜んでもらえるような花づくりをしたいと思います」。

道行く人の心を和ませる花づくりに、きょうも汗を流します。



KIRARI

と だ けん きち
戸田憲吉 さん(幌別町)

北海道は、花の育成管理や街並み景観に配慮した植花に関する知識・技術を持ち、花のまちづくりのボランティアリーダーとして積極的に指導・助言できる方をフラワーマスターとして認定しています。

町内会の園芸部長として、花壇整備などを積極的に行い、園芸活動のリーダー的役割を果たしてきた戸田憲吉さんは、平成15年に認定されました。

長きに渡り花に触れ、経験豊富な技術と知識でつくる花は、丈夫で、出来栄が素晴らしいと地域の方からも評判の戸田さんに、花づくりや地域への思いを伺いました。

花を見て、地域の皆さんが笑顔になることが喜びです。



昭和3年8月25日、長沼町生まれ。86歳。
昭和25年から室蘭市内の製鉄会社に勤め、昭和62年に退職。
その後、平成8年に、町内会の役員となり、花づくりを始め
る。現在も地域の花壇づくりなどに積極的に携わる。